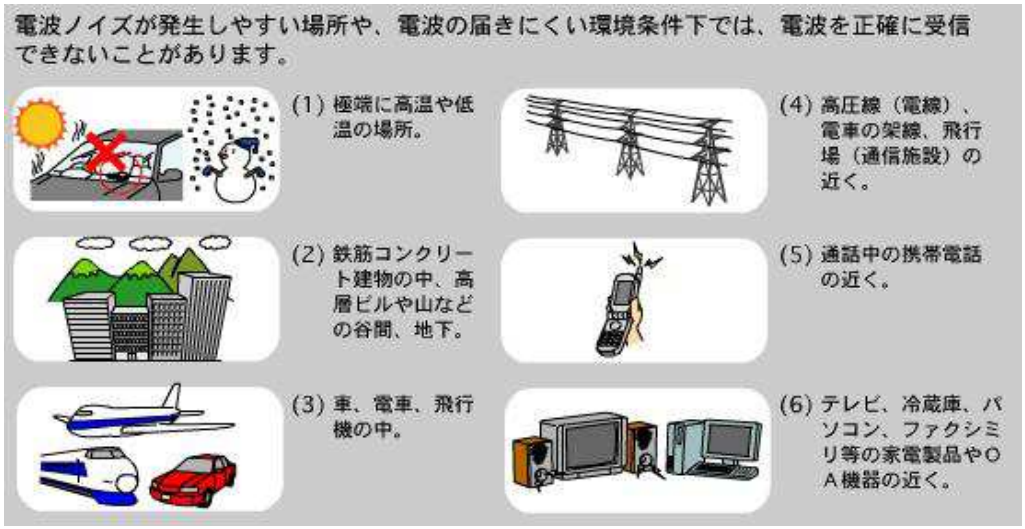
# CHUR901 電波時計機能 Q&A

| Q.1 | うまく電波を受信できません。 受信のコツがあるのでしょうか？ |
|---|---|
| A.1 | 上手に電波を受信するためには、以下の点にご注意ください。<br><br>■電波は金属の遮蔽物により受信しにくいことが有ります。鉄筋コンクリートの建物内などではできるだけ窓の近くで受信してください。<br>■安定した受信を行なうため、血圧計を動かさないでください。<br>■受信アンテナ（血圧計の左側）を電波送信所の方向に向けて受信してください。<br>※受信開始から終わるまでに、2分から最大16分かかります。<br>（初めて受信する場合は時間がかかる場合があります。）<br><br>標準電波受信可能地域の目安は、福島県東部の「おおたかどや山電波送信所」、または九州の「はがね山電波送信所」を中心に半径約 900kmの範囲です。　電波が受信できる地域かどうかご確認ください。<br>ただし、この範囲内でも時間帯や季節変化、気象などの条件により受信できない場合が有ります。<br><br>また本血圧計で受信している標準電波は、保守点検などで送信が中断される事があります。<br>独立行政法人の情報通信研究機構の日本標準時グループが管理運営を行っていますので、そちらのホームページ(http：//jjy.nict.go.jp/)をご覧下さい。<br><br>■電波の受信が困難な場所について<br>電波を遮蔽するような室内の場合や、ノイズを発生させる電気製品が近くにあると受信できない場合があります。部屋の窓際など、ノイズの少ない場所で受信操作をしてください。<br>  <br><br><br>■電池電圧が低下していると受信（強制受信、定時受信とも）出来なくなります。　新しい電池に交換するか、あるいはＡＣアダプターを使用してください。<br><br>■上記のいずれにも当てはまらない場合は血圧計が故障している可能性があります。<br><br>送信の中断がなく、正常に電波が送信されている状況で何度受信を試みても受信ができない場合は、受信時の状況、周辺地形等をご確認のうえ、「シチズン・システムズ　お客様相談室」までご相談ください。 |

| | |
|---|---|
| Q.2 | 強制受信の仕方について教えてください。 |
| A.2 | 取扱説明書１１ページの強制受信（手動受信）の操作手順に従い、窓際など電波が受信しやすい場所で、血圧計の受信アンテナ（血圧計の左側）を電波送信所の方角に向けて、[時計設定]スイッチを長押し（約2秒間）してください。 |
| Q.3 | 電波を受信できない時には、どうやって時刻を合わせればよいですか？ |
| A.3 | 標準電波による時刻修正が行われない状態で、時計の時刻修正をする場合は手動での時刻合わせができます。<br>取扱説明書１３ページの「手動での時計の合わせかた」の操作手順に従い、時刻を合わせてください。　[時計設定]スイッチを長押し（約２秒）した後、電波受信マークの点滅を確認してから、再度[時計設定]スイッチを押してください。 |
| Q.4 | 電波を受信しないと時計の精度はどうなりますか？ |
| A.4 | 電波を受信しない時は、月差±３０秒の通常のクオーツ時計の精度で動きます。 |
| Q.5 | 強制受信はできるが、定時受信ができないのはなぜですか？ |
| A.5 | 定時受信の際の受信環境が良くない場合が考えられます。<br>鉄筋のマンション、血圧計の置き場所（テレビ/冷蔵庫/パソコンなどの近く）、高圧線の近く、低温などの環境下では、受信しにくいことがあります。<br>窓際などの電波が受信しやすくノイズの少ない安定した場所に置き、受信アンテナ（血圧計の左側）を電波送信所の方向に向けて受信するようにしてください。<br>受信アンテナの位置は取扱説明書（１１ページ）でご確認ください。 |
| Q.6 | 定時受信はできるが、強制受信ができないのはなぜですか？ |
| A.6 | 定時受信は、比較的ノイズが少ない時間帯に行われるため、受信しやすい環境といえます。<br>しかし、強制受信はいつでも手動で行う受信ですので、日中の生活ノイズの影響を受けたり、受信方法（場所/置き方/など）や天候の影響を受けることがあります。<br>強制受信を行う場合は、窓際などの電波が受信しやすく安定した場所に置き、受信アンテナ（血圧計の左側）を電波送信所の方向に向けて受信するようにしてください。<br>受信アンテナの位置は取扱説明書（１１ページ）でご確認ください。 |
| Q.7 | どのような場所でも受信できるのですか？ |
| A.7 | 電波を遮蔽するような構造物や、ノイズを発生させる電気製品が近くにあると受信できない場合があります。　詳しくは上のＡ.１をご覧ください。 |
| Q.8 | 時報と時計の時刻がわずかにずれていますが、どうしてですか？ |
| A.8 | 時刻が若干ずれる要因として、定時受信がされていない場合があります。<br>毎晩夜中の午前2時16分40秒または4時16分40秒に定時受信が行われます。<br>この受信が行われないと、通常のクオーツ時計の精度で時刻が表示されますので、時刻表示に誤差が生じます。誤差は、強制受信をすることで調整することが出来ます。 |

| | |
|---|---|
| Q.9 | 海外でも電波を受信できますか？ |
| A.9 | 電波受信は日本国内のみ対応しています。海外で使用した場合、ノイズ等により誤った日時を表示したり、日本の電波を受信して日本の標準時を表示することがあります。 |
| Q.10 | 日本中どこでも受信可能ですか？ |
| A.10 | 電波送信所福島局（東局）と九州局（西局）の二箇所があり、ほぼ日本全土をカバーしていますので、受信可能です。しかし、距離的には満足していても受信環境（山間部、コンクリートビル/マンション内、トンネル内、電車高架線付近、etc）によっては受信できない場合があります。 |
| Q.11 | 電波時計とはどんな時計ですか？ |
| A.11 | 電波時計とは、独立行政法人情報通信研究機構の日本標準時プロジェクトが管理運営を行っている標準電波を受信して、時刻及びカレンダーを**自動修正**する時計です。<br>電波時計のしくみは次のようになっています。<br><br>1. 10万年に1秒の誤差といわれるセシウム原子時計をもとに日本に2箇所ある電波送信所（福島局/東局、九州局/西局）から標準電波が送信されます。<br><br>2. 送信された電波を電波時計が受信します。<br><br>3. 受信した標準電波の情報を処理して、時刻やカレンダー等のデータを取り出します。<br><br>4. 取り出したデータを基にして、正しい時刻・カレンダーを表示します。<br><br>電波時計は常時標準電波を受信している訳ではなく、一定時間毎に標準電波を受信して時計カレンダーを修正します。<br>標準電波を受信していない時は通常のクオーツ時計の精度で動いているため、時報との若干のずれを生じます。 １日に１回以上、標準電波を受信し日本標準時に自動修正します。 |